



ネクスト香川「EMC講習会」開催報告

◇県内企業のEMC技術向上を支援します◇

かがわEMC技術研究会(事務局:公益財団法人かがわ産業支援財団内)では、毎年、実施しているネクスト香川「EMC講習会」を下記のとおり開催しました。

本会は県内企業のEMC技術の向上を目的として毎年上期と下期の年2回開催しており、毎回、EMCに携わっておられる技術者や、興味を持たれている方々が多く参加して、熱心に聴講されています。今回も県内外から48名の参加があり、盛況のうちに無事終了することができました。

今回は、一般財団法人 VCCI 協会より各分野の専門の講師をお招きし、①VCCI 協会活動の紹介と今後の規制動向、②VCCI 新技術基準の改定内容と測定上の留意点、③EMI 教育研修と測定上の留意点、④EMI 不具合箇所の簡単摘出法などの講演が行われました。

講演の中で小田常務理事より、VCCI 協会が実施している以下の7つの事業についての説明があり、VCCI 協会の活動状況や役割などについて、一層、理解を深めることができました。

- 1) 運営事業(海外関係機関との意見交換、ワークショップ開催、セミナー開催)
- 2) 規格制定事業(国内 EMC 規格標準化作業への参画、貢献、技術シンポジウム開催)
- 3) 技術研修事業(座学、実習研修)
- 4) 市場実態調査事業(市場抜取試験、書類審査、表示調査)
- 5) 海外調査事業(国際フォーラム開催、海外 EMC 規制動向調査)
- 6) PR 事業(技術展示会、学会併設展示会への出展)
- 7) サイト登録事業

また、山口技術専門委員による「EMI 不具合箇所の簡単摘出法」の講演では、山口技術専門委員が長年の経験に基づいて考案された近傍電界検出法に多くの関心が寄せられていました。

EMC講習会では、これからも会員や県内企業の皆様にEMCに関する最新技術の情報を発信して参りますので、是非、多くの皆様にご参加いただければ幸いです。

記

- 開催日時 平成 29 年 11 月 17 日(金) 13:30~17:00
- 会 場 香川産業頭脳化センター 2階「一般研修室」
〒761-0301 高松市林町 2217 番地 15
- 主 催 かがわEMC技術研究会 (会長 岡山大学名誉教授 古賀 隆治)
- 共 催 一般財団法人 VCCI 協会
- 後 援 香川県



質問に答える小田常務理事



講習会の模様

プログラム

ネクスト香川EMC講習会

開会挨拶 公益財団法人 かがわ産業支援財団 理事長 大津 佳裕 氏

ネクスト香川は電磁波測定・評価が可能な大型電波暗室を提供しており、性能面では 10m 法の電磁波測定が可能であるとともに国際的な認証機関より認証を受けている四国では唯一の研究施設であり、一層のご利用をお願いしたいと挨拶された。



挨拶する大津理事長

講演1 VCCI 協会活動の紹介と今後の規制動向

一般財団法人 VCCI 協会 常務理事 小田 明 氏

VCCI 協会の概要、VCCI 協会の主な事業、EMI 規制の今後について、詳細な紹介があった。講演の中で市場実態調査の結果では、国内企業は概ね規格を遵守できており海外製品の不良が多くなっているとの説明があった。また、EMI 規制の今後として CISPR32 の適用範囲や海外の規制動向などを分かり易く解説いただいた。



小田常務理事

講演2 VCCI 新技術基準の改定内容と測定時の留意点

一般財団法人 VCCI 協会 技術専門委員会 委員長 平原 実 氏

VCCI-CISPR32 の技術基準制定に伴い、技術基準の作成スケジュール、構成、CISPR32 Ed2.0 との変更点および規程の解釈、ガイダンス、適合確認試験の流れ、測定時の留意点などを詳しく紹介いただいた。また、この規格では、NTT など電気通信事業者が管理する局舎内設備や広帯域電力線搬送通信設備 (PLC) は適用が除外されるとの説明があった。



平原技術専門委員長

講演3 EMI 教育研修と測定上の留意点について

一般財団法人 VCCI 協会 教育研修専門委員会 委員長 平田 稔 氏

VCCI における研修事業として、研修コースの概要、適合確認届出、試験報告書などについて、詳細な紹介があった。また、妨害波の測定上の留意点として、狭帯域妨害波、広帯域妨害波、パルス状妨害波などの捉え方についても詳しく解説いただいた。



平田教育研修専門委員長

講演4 EMI 不具合箇所の簡単摘出法

一般財団法人 VCCI 協会 技術専門委員会 委員 山口 正徳 氏

通常の妨害電波測定は遠方電界で測定しており、不具合箇所の摘出では近傍電磁界を測定している。近傍電界が下がると全体のノイズレベルも下がることが経験的に分かっており、この近傍電界を測定するためのプローブの作製方法や不具合箇所の見つけ方について、詳細に解説いただいた。



山口技術専門委員